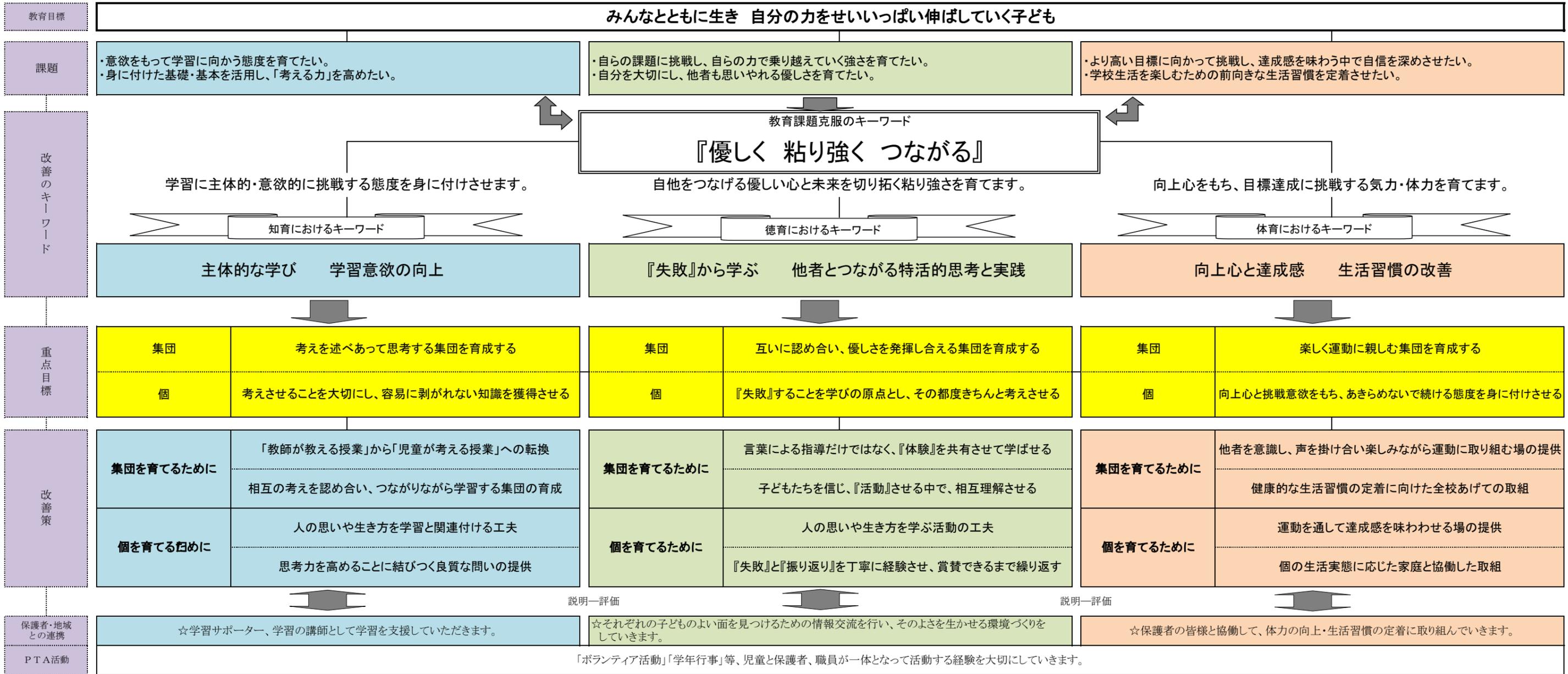


令和6年度 新発田市立御免町小学校グランドデザイン



学校評価	成果	見方・考え方を働かせ、自他の学びを調整し、対話によって思考を深める児童の割合を80%以上にする。 国語・算数のワークテストにおいて、知識・理解及び思考・判断・表現等の期待得点を超える児童の割合を75%以上にする。	友達の行いや思いに目を向け、支えようとする学級の児童の割合を80%以上にする。 「失敗しても成長するためがんばろうとしている」と、自分を肯定的に捉えている児童の割合を80%以上にする。	友達とかかわりながら運動に親しみ、達成感や技能の伸びを実感している児童の割合を80%以上にする。 生活習慣改善のために目標を自分で決め、あきらめないで続けることのできた児童を80%以上にする。
	教育活動	見方・考え方を働かせ、自他の学びを調整しながら主体的に学ぶ姿を引き出す授業を、月に2回以上行う。 学年に応じた思考力を発揮させる問題の分析結果を生かした授業を月1回以上行う。	児童が主体となる「特活的思考」に基づいた異学年交流を学期に1回以上行う。 活動を進める中で、自分の行いを振り返るとともに、他者から肯定的なフィードバックを受け取る場面を意図的に設ける。	学期に1単元以上、児童が友達とかかわりながら運動に親しみ、達成感や技能の伸びを実感できるようにするための手立て（場の設定や教具の工夫等）を講じる。 生活習慣の改善について目標を決めて挑戦する「さわやか生活ウィーク」を年2回設定し、行う。
	運営活動	見方・考え方を働かせ、自他の学びを調整し、対話によって思考を深める授業づくりについての研修会を年間に3回以上行う。 学年に応じた思考力を発揮させる問題の、意図や指導改善のポイントについての分析を月に1回以上行う。	児童が主体となる特別活動についての研修会を年2回以上行う。 人の思いや生き方を学ぶ活動（総合的な学習の時間）についての実践事例を共有する。	児童が友達とかかわりながら運動に親しみ、達成感や技能の伸びを実感できるようにするための手立てについて、実践事例を共有する。 生活習慣の改善に向け、目標設定を支援するための資料提供を年2回行う。